

まえがき風の駄文

本書は「とにかく人のオナニー事情を知りたい」という衝動から生まれた作品となります。

普段は音声作品の方で「特定の一人のオナニー事情について深掘り」していますが、今回はひとつのテーマに絞り、複数の方から文章で語っていただくというスタイルとなっております。

今回は「はじめてのオナニー」にスポットをあて、5名の女性に「あなたの初めてのオナニーについて聞かせてください」とお願いし、ご回答いただいたものをまとめたものになります。

いただいた文章にはできるだけ手を加えず、誤字脱字や日本語的に意味が伝わりにくいもの、改行のみ編集し、極力原文のままを掲載しております。

そのため、一部読みづらかったりする場合がございますが、それが「個性」であることをご理解いただけると幸いです。

もちろん、編集のくだらない妄想で変なスパイスを足すなんて愚かな行為はしておりません。

回答者の女性自らが紡いだ言葉で、自らの^{こころ}はじめての自慰行為^をを表現していただきました。

あなたの知識欲を満たし、妄想のネタとなり、オナニーを捗らせる。

本書がその一助になることを願っています。

企画・編集・制作 沢尻

ケース① 初オナニーはアナニー

① プロファイル

名前	ごろねこ
年齢	二十九歳
職業	派遣
出身地	愛知県
趣味	ポイ活

② 報告内容

私は●学生の頃、親に内緒でBLにハマっていました。最初はアニメやマンガの特定のキャラクター同士の絡みを楽しんでいただけだったのですが、●学が上がって性の知識が増えていくのに伴って男性同士の絡み自体が好きになり、次第に求める内容も激しいものになりました。

●学生にもなればオナニーの知識も自然と入ってくるのですが、当時の私は、具体的に何をすることを指して「オナニー」というのかよく分かっていませんでした。

認識としては「自分の手で快感を得ること」くらいのもので、実際に何をすれば快感に繋がるのかはさっぱり……といった感じでした。

そんな●学生の私ですが、お風呂に入っているときのふと思いついたことがあります。

それは「お尻の穴って気持ちいいんだろうか」という疑問です。

少女マンガをほとんど読まず、女性向けエロコンテンツなんて存在すら知らなかった当時の私にとって、エッチな知識といえばBLから得たものしかありませんでした。

そうなるも当然、本番行為で使うもの〓お尻の穴ということになります。

お尻の穴なんて汚い、というイメージがありました。運が良いのか悪いのかそこはお風呂。体を洗ってしまったらその辺のハードルはないも同然でした。

いつもより念入りにお尻を洗い、いざ穴を触ってみた……なのですが、当然ながら特に気持ちよさはありません。

恐る恐る少し指を入れてみたり、入れた指を動かしてみたりもしましたが、やっぱりBL作品で見るようなゾクゾク感も体が熱くなる感覚も全くありません。

ということ、私の初オナニー（もとい初アナニー）は不発に終わりました。

その後も何回もお風呂や布団の中でチャレンジはしたのですが、初めて彼氏と本番行為をするまではオナニーで快感を得ることはできずにいました。

今思うと当然の結果なのですが、当時は覚えての知識で本当に手探りだったのだなと思うと同時に、知らず知らずにハードプレイに片足を突っ込んでいたんだと思うと、無知って怖い……と思います。

③ 当時は振り返った感想

知識が偏りすぎて、無意識にいきなりハードなプレイに挑戦していた。